モーリタニア月例報告
（２０２６年９月）

２０２６年１０月
在モーリタニア日本大使館

【内政】
９月１５日　モーリタニア東部のマリ難民が約 29 万人に
９月２５日　2026-2027 年の議会年度の第 1 回通常会期の開会

【外政】
９月７日　メルズーク外相、第 166 回アラブ連盟外相理事会に出席
９月１４日　ガズワニ大統領、ソマリアの大統領からの書簡を受領
９月１７日　中国病院船で中国建国記念レセプション
９月１９日　防衛相、第 13 回香山フォーラムおよび第 4 回中国・アフリカ平和・安全保障フォーラム出席
９月２１日　国民議会議長　武漢で「国際平和デー」の記念式典出席
９月２２日　外相、アラブ諸国外相会議に出席
９月２３日　外相　「難民の地位に関する条約」締結 75 周年を記念するハイレベル会合出席
９月２４日　国民議会議長　「アラブ腐敗防止条約」第 6 回締約国会議出席
９月２４日　モーリタニア・グアテマラ外相、外交関係樹立に関する協定に署名
９月２５日　メルズーク外相の第８１回国連総会一般討論演説
９月２６日　文化相　サンクトペテルブルクでの「第 12 回国際文化統一フォーラム」出席
９月２８日　経済相　アジアインフラ投資銀行（AIIB）の第 11 回年次総会の開会式に出席
９月２９日　EU　難民支援のための新規資金提供を発表
９月３０日　モーリタニアと NATO、軍事協力強化について協議

【経済】
９月１日　農業相　イタリアの代表団と小麦栽培に関する共同プロジェクトの立ち上げについて協議
９月３日　ティリス・ウラン開発計画が最終投資判断に向け重要段階へ
９月４日　財務相、IMF の代表団と会談
９月８日　新投資法の下で 19 件、総額約 1 億 2,000 万ドルの投資案件を承認
９月８日　EU、食料安全保障プロジェクトに 1,350 万ユーロを拠出
９月１０日　アフリカ開発銀行、2026 年の経済成長率を 4.4％と予測

９月１３日　USGS、モーリタニアの金・鉄鉱石産出動向を公表
９月１５日　中国での「低炭素産業世界フォーラム」に参加
９月１６日　グリーン水素プロジェクト「アマン」に関する包括協定に署名
９月２１日　モーリタニア・カナダ商工会議所（CMCCI）の設立
９月２２日　モーリタニア・モロッコ、ヌアクショットーヌアディブ間の道路の改修・拡幅に関する枠組み協定に署名
９月２２日　スペイン船「Intermares」号を会場とした海事研修プログラムが開始
９月２３日　GreenGo 社・Shuangliang 社、アンモニア大型プロジェクトの MOU 締結
９月２４日　欧州委員会、EU とモーリタニア間の新たな漁業協定をめぐる交渉が現在進行中であると表明
９月２５日　インドの MBH POWER 社がヌアクショット東部の変電所事業に選定
９月２６日　ガズワニ大統領、インシリでの新鉱山の近々の操業開始を約束
９月２７日　世界銀行の対モーリタニア資金承認額、直近 7 年間で過去約 60 年間に匹敵
９月３０日　モーリタニアとセネガル、セネガル川流域におけるパートナーシップを強化
９月３０日　モーリタニア、東部・南部アフリカ貿易開発銀行グループ（TDB グループ）およびアフリカ貿易保険機関（ATIDI）への加盟を推進

【内政】
９月１５日　モーリタニア東部のマリ難民が約 29 万人に
（１）モーリタニア東部ホド・エチ・シャルギ州では、マリから逃れてきた難民が約 29 万人に達している。ムベラ難民キャンプは約 7 万人の収容を想定して設置されたが、現在は約 12 万人が居住し、さらに周辺 70 以上の村や地域にも多数の難民が定住している。
（２）マリ国内の治安悪化を背景に難民流入が続いており、水、食料、医療、教育など受け入れ地域の公共サービスへの負担が増大している。UNHCR は現時点でマリへの大規模な帰還の可能性は低いとみており、長期的な難民受け入れへの対応が課題となっている。

９月２５日　2026-2027 年の議会年度の第 1 回通常会期の開会
　国民議会は、2026-2027 年議会年度の第 1 回通常会期が、2026 年 10 月 1 日（木）17 時に予定されている本会議をもって開会されると発表した。

【外政】
９月７日　メルズーク外相、第 166 回アラブ連盟外相理事会に出席
（１）メルズーク外相はカイロで開催された第 166 回アラブ連盟外相理事会通常会合に出席した。演説では、アラブ地域が安全保障、政治危機、外部干渉など複合的な課題に直面しているとして、加盟国間の連帯と立場の調整を強化する必要性を強調した。

（２）パレスチナ問題については、1967 年 6 月 4 日の国境を基礎とし、東エルサレムを首都とする独立したパレスチナ国家の樹立を支持するモーリタニアの立場を改めて表明した。また、ガザでの即時停戦やパレスチナ住民への緊急支援を呼びかけた。

９月１４日　ガズワニ大統領がソマリアの大統領からの書簡を受領

ガズワニ大統領は、ソマリアのアリ宗教相兼大統領特使からソマリア大統領の書簡を受け取った。この書簡には、アフリカ及びアラブ諸国における正義の事業の支援や兄弟国間の連帯強化に向けたモーリタニアの指導的役割への感謝と称賛が込められていた。会談後、駐モーリタニア・ソマリア大使は、両国関係が協力面で進展を見せており、締結済の協定や覚書の実施において前向きな成果が得られていることへの満足を表明した。

９月１７日　中国病院船で中国建国記念レセプション

（１）駐モーリタニア中国大使館は、ヌアクショット自治港に停泊中の中国軍病院船「Saâda」号の船上で、中華人民共和国建国 77 周年記念レセプションを開催した。式典にはモーリタニア外相や高等教育相らが出席し、駐モーリタニア中国大使は中国がモーリタニア産品に対して関税を全面免除していることを強調し、中国市場を貿易拡大と経済発展の好機として紹介した。

（２）また、中国の支援により建設され 1986 年に開港したヌアクショット自治港「友好港」の重要性を改めて称え、ガズワニ大統領と習近平国家主席の会談を経て両国の戦略的パートナーシップが更に強化されたことを強調した。病院船は 9 月 15 日にヌアクショットに到着し、6 日間にわたって無料診察や医療処置、研修活動を実施している。2 年間で 2 隻目となる中国海軍病院船の寄港は、両国間の協力がインフラ・貿易にとどまらず、医療・軍事分野へと拡大していることを示すものである。

９月１９日　防衛相、第 13 回香山フォーラム及び第 4 回中国・アフリカ平和・安全保障フォーラム出席

（１）シディ防衛大臣は、中国国防相の招待により、北京で開催された第 13 回香山フォーラム及び第 4 回中国・アフリカ平和・安全保障フォーラムに出席した。フォーラムにおいて同大臣は、平和・安全保障・開発分野における中アフリカ協力の強化に向けた同フォーラムの重要性を強調するとともに、紛争の平和的解決の促進における中国の役割を称賛した。

（２）また、ガズワニ大統領と習近平国家主席の後援のもと両国の戦略的パートナーシップが高度な段階に達したことを評価し、特に防衛・安全保障・訓練・専門知識の交換分野における二国間協力の新たな展望を強調した。

９月２１日　国民議会議長が武漢で「国際平和デー」の記念式典に参加

メギット国民議会議長は、中国・武漢で中国平和・軍縮協会（CPAPD）と湖北省が共同

主催した「国際平和デー」記念式典に出席した。メギット議長は演説の中で、この記念行事が持つ強い象徴的意義を強調し、平和を集団的責任として国際社会への呼びかけを行うとともに、対話と協力の促進における中国の役割を称賛し、2024 年 9 月に北京で合意されたモーリタニア・中国間の戦略的パートナーシップの強化にガズワニ大統領が注力していることを強調した。

９月２２日　外相、アラブ諸国外相協議会合に出席

　メルズーク外務大臣は、国連総会第 81 回会期の開催に合わせ、ニューヨークの国連本部でアラブ諸国外相による年次協議会合に出席した。この会合は、共通の関心事に関するアラブ諸国間の協議・調整および地域・国際情勢に関する意見交換を行うとともに、国連総会におけるアラブ諸国の立場強化を目的としたものである。

９月２３日　外相　「難民の地位に関する条約」締結 75 周年を記念するハイレベル会合に出席

（１）メルズーク外務大臣は、ニューヨークで開催された「1951 年難民の地位に関する条約」締結 75 周年記念ハイレベル会合に出席した。共同主催国として参加した同大臣は、同条約が 75 年にわたり難民保護の国際的基盤となってきたことを称え、故郷を離れることを余儀なくされた人々への連帯は人道的義務であるだけでなく集団的責任であると強調した。

（２）また、数十万人の難民や庇護申請者を受け入れるモーリタニアの経験に言及し、ンベラ難民キャンプをその連帯の象徴として紹介した。さらに、アフリカ大陸が長期化する避難状況や人道支援資金の減少という課題に直面している現状を踏まえ、責任の公平な分担、予測可能な資金の動員、人道支援・開発・平和構築の相互補完性の強化という 3 つの取り組みを呼びかけた。

９月２４日　国民議会議長　「アラブ腐敗防止条約」第 6 回締約国会議に参加

（１）カタールのドーハで「アラブ腐敗防止条約」第 6 回締約国会議が開催され、モーリタニア国民議会のメギット議長率いる議会代表団が参加した。メギット議長は演説の中でガズワニ大統領の指針に基づくモーリタニアの腐敗防止への強い取組を強調した。会議では、締約国間の司法共助の迅速化による国際協力強化に関する決議や、腐敗防止対策の強化を訴える「ドーハ宣言」が採択された。

（２）また、会議の合間にメギット議長はカタール・シュラ評議会の副議長と会談を行い、両議会間の関係強化や立法分野における経験・見解の交換、共通の関心事について協議し、両国間の議会協力の推進を確認した。

９月２４日　モーリタニア・グアテマラ、外交関係樹立に関する協定に署名

両外相は、ニューヨークにて、モーリタニアとグアテマラ間の外交関係樹立に関する協定に署名した。この協定の署名は、国連総会第 81 回会期の開催に併せて行われた。

９月２５日　メルズーク外相の第８１回国連総会一般討論演説

（１）メルズーク外務大臣は、ニューヨークで開催された国連総会第 81 回会期において演説を行い、国連憲章と国際法の原則に基づくモーリタニアの外交政策、および国内における政治・経済・社会・安全保障の各分野での取組を説明した。国際問題については、多国間主義の重要性を強調し、安保理改革とアフリカへの常任理事国ポストの割り当て、国際金融システムの改革、SDGs の実施加速を呼びかけた。

（２）地域紛争については、パレスチナ問題に関して二国家解決とガザ和平計画の実施を支持し、スーダン、リビア、イエメン、レバノンへの連帯と平和的解決への支持を表明した。また、中東における軍事的緊張の高まりへの懸念を示すとともに、移民問題では出身国・通過国・受入国間の協力強化と責任の公平な分担を求めた。

９月２６日　文化相　サンクトペテルブルクでの「第 12 回国際文化統一フォーラム」出席

メドゥ文化相は、ロシアのサンクトペテルブルクで開催された第 12 回「国際文化統一フォーラム」に出席した。プーチン大統領が開会式を主宰したこのフォーラムで、同大臣はモーリタニアが文化を国民的結束と国家・文明間の架け橋を築く基本的な柱と位置づけていることを強調した。モーリタニアの同フォーラムへの参加は、モーリタニアとロシア間の文化協力関係の深化や両国機関・文化関係者間のパートナーシップ拡大を図る一環として位置づけられている。

９月２８日　経済相　アジアインフラ投資銀行（AIIB）の第 11 回年次総会の開会式に出席

スレイマン・シェイフ・シディヤ経済・開発大臣は、ドーハで開催されたアジアインフラ投資銀行（AIIB）第 11 回年次総会の開会式に出席した。「未来のインフラ：影響とイノベーション」をテーマに掲げた今回の総会は、AIIB の活動開始から 20 年目の節目となるもの。同大臣の参加は、国際開発金融システムにおけるモーリタニアの立場を強化し、国内の投資機会を紹介するとともに、AIIB や各金融パートナーとのパートナーシップの深化と資金動員を図ることを目的としている。

９月２９日　EU　難民支援のための新規資金提供を発表

欧州連合（EU）は、サハラ以南アフリカにおける国内避難民および受入コミュニティを支援するため、約 7 億 1000 万ユーロの新規資金提供を発表した。このうち 2026 年には 3 億 8000 万ユーロが移民保護や自発的帰還、移民ガバナンスの強化に充てられ、さらにその中から 1 億 4000 万ユーロが特にモーリタニア東部における避難民や受入コミュニティ向けの移民管理・保護・持続可能な解決策のために拠出される。今回の資金提供は、モーリタニ

アにおける移民・避難民保護に関する欧州プログラムの一環としての位置づけ。

９月３０日　モーリタニアと NATO、軍事協力強化について協議
（１）シディ国防相は、NATO 国際参謀本部のマッシモ・スパダヴェッキア将軍率いる代表団とヌアクショットで会談し、モーリタニアと NATO の協力関係、特に軍事分野での協力を強化・発展させる方策について協議した。
（２）モーリタニアは 1995 年から NATO の「地中海対話」に参加しており、2022 年以降は特殊部隊、海上安全保障、情報、軍事訓練などを対象とする防衛能力構築支援を受けている。今回の会談も、こうした長期的な安全保障協力強化の一環として行われた。

【経済】
９月１日　農業相がイタリアの代表団と小麦栽培に関する共同プロジェクトの立ち上げについて協議
（１）ムハイミド農業・食料主権大臣は、イタリア企業（B.F.I および SIHAM）の代表団とヌアクショットで会談し、イタリア・アフリカ協力の枠組みのもと、両国共同農業プロジェクトの立ち上げについて協議した。プロジェクトの費用はイタリア企業とモーリタニア側が折半し、モーリタニア負担分の半分はイタリアの無償援助で補填される。
（２）具体的な内容としては、ブラクナ県で 1 万〜2 万ヘクタールの土地を再生し、ボゲ市近郊に用水路を建設するほか、国内需要が高いにもかかわらず生産が不足している小麦の栽培導入、米・小麦の種子生産改善のための融資枠の創設、野菜栽培の拡大などが盛り込まれており、農業の多様化と収益性の向上が期待されている。

９月３日　ティリス・ウラン開発計画が最終投資判断に向け重要段階へ
（１）オーストラリアの Aura Energy が主導するモーリタニア北東部のティリス・ウランプロジェクトについて、銀行融資可能性調査（BFS）が 9 月に予定され、2026 年末までに最終投資判断（FID）が行われる見通しとなった。
（２）同プロジェクトは当初、年間約 200 万ポンドのウラン（U_3O_8）を生産し、将来的には約 350 万ポンドへの拡大を計画している。推定鉱物資源量は約 9,130 万ポンド、鉱山寿命は約 25 年とされ、鉄鉱石と金に依存してきたモーリタニア鉱業の多様化につながることが期待される。

９月４日　財務相、IMF の代表団と会談
　ンゲノレ財務大臣は、IMF の技術支援代表団と会談し、公共財政統計および公営企業の債務統計の改善について協議した。今回のミッションは、IMF が 2026 年 6 月に承認した 42 カ月の新規金融協定および約 1 億 560 万ドルの即時融資が行われてから数ヶ月後に実施されたものであり、公共財政統計および公営企業の債務統計の集計体制の強化について協

議が行われた。

９月８日　新投資法の下で 19 件、総額約 1 億 2,000 万ドルの投資案件を承認
（１）国際金融公社（IFC）によると、モーリタニアでは新たな投資法の施行以降、総額約 1 億 2,000 万ドルに上る 19 件の投資プロジェクトが承認され、計 939 人の直接雇用創出が見込まれている。
（２）新投資法は、法的安定性の向上、投資家保護、行政手続きの簡素化、投資規模・性質に応じた優遇制度の再構築を目的としている。鉱業や貿易への依存度が高いモーリタニア経済の多様化と民間部門の活性化を図る改革の一環と位置づけられている。

９月８日　EU、食料安全保障プロジェクトに 1,350 万ユーロを拠出
（１）EU の資金提供を受け、ベルギー開発庁が実施する「食料・栄養安全保障向上のための持続可能かつ包摂的な食料システム（CISALIM）」プロジェクトの運営委員会初会合がヌアクショットで開催された。
（２）同事業は農業・食品バリューチェーンの発展、生産者の市場・資金へのアクセス改善、地元産品の消費促進などを通じ、持続可能で気候変動に強い食料システムの構築を目指す。東西ホド、アッサバ、ギディマカ、ゴルゴル、ブラクナ、トラルザの 7 州を対象とする。

９月１０日　アフリカ開発銀行、2026 年の経済成長率を 4.4％と予測
（１）アフリカ開発銀行（AfDB）は、モーリタニアの実質 GDP 成長率について、2025 年の約 4％から 2026 年には 4.4％、2027 年には 4.7％へ上昇すると予測した。
（２）成長加速の主因として、セネガルと共同開発するグランド・トルトゥ・アフメイム（GTA）を中心としたガス生産の開始や、農業など生産部門の好調を挙げた。ガス資源の本格開発が今後の経済成長を支える重要な要因になるとみられている。

９月１３日　USGS、モーリタニアの金・鉄鉱石産出動向を公表
（１）米国地質調査所（USGS）の報告によると、モーリタニアではタシアスト鉱山、ゲルブ・モグライン鉱山、手工業的採掘などが金産出を支えている。一方、鉄鉱石産出は約 1,430 万トンの水準を維持した。
（２）鉄鉱石については、SNIM がティリス・ゼムール州の主要鉱山で操業を継続しているほか、F'Deirik プロジェクトが進められている。同プロジェクトにより SNIM の年間鉄鉱石産出能力は約 1,800 万トンまで拡大することが見込まれている。

９月１５日　モーリタニアが「低炭素産業世界フォーラム」に参加
（１）鉱業・産業省のビラル次官を団長とするモーリタニア代表団は、中国・深センで開催中の「IDEE 2026 デジタルエネルギー国際見本市」の一環として行われる「2026 年低炭素

産業世界フォーラム」に参加した。同フォーラムは、政府関係者や専門家、国際機関の代表者らが一堂に集まり、再生可能エネルギーの電力網への統合、エネルギー貯蔵技術、AI やデジタルソリューションの活用、脆弱地域へのクリーンエネルギー供給などをテーマに議論を行う国際的なプラットフォームである。
（２）モーリタニアの参加は、エネルギー・産業・グリーン移行の各分野における国際協力とパートナーシップの拡大、および国際的な専門知識の活用を目指す同国の取り組みの一環として位置づけられている。

９月１６日　グリーン水素プロジェクト「アマン」に関する包括協定に署名
（１）エネルギー・石油相は、CWP Global とグリーン水素プロジェクト「アマン」の開発に関する包括的協定に署名した。同分野においてモーリタニア初となるこの協定は、プロジェクトの長期的な契約枠組みと財務・経済・開発面の規定を定めるものである。
（２）「アマン」プロジェクトは年間約 120 万トンのグリーン水素と 660 万トンのグリーンアンモニアの生産を目指しており、肥料産業の発展や食料安全保障の強化、グリーン鋼の生産などの新産業創出、鉄鉱石の現地処理改善、さらに 2035 年までの失業率 3 分の 1 削減への貢献が期待されている。

９月２１日　モーリタニア・カナダ商工会議所（CMCCI）の設立
（１）モーリタニア・カナダ商工会議所（CMCCI）が正式に設立され、活動を開始した。モントリオールを拠点とする同商工会議所は、両国間の経済・貿易・投資関係の促進を目的とし、漁業、エネルギー、情報技術、鉱業の 4 分野を優先分野として設定している。駐カナダ・モーリタニア大使が名誉会長に就任した。
（２）二国間貿易については、2024 年のデータでカナダはモーリタニアへの外国投資国として第 1 位に位置しているものの、カナダからモーリタニアへの輸出額はわずか 3,860 万ドルにとどまり、その大部分がモーリタニア産金の輸出という単一の貿易フローに依存している。CMCCI は、この不均衡の解消と貿易の多様化を図るとともに、カナダ在住のモーリタニア人ディアスポラを貿易・投資・技能移転の担い手として積極的に活用することを目指し、今後は制度的ネットワークの構築や初の経済交流会の開催に注力する予定である。

９月２２日　モーリタニア・モロッコ、ヌアクショットーヌアディブ間の道路の改修・拡張に関する枠組み協定に署名
　ヴェイリック設備・運輸大臣は、ラバトにてモロッコのバラカインフラ・水資源大臣とともに、ヌアクショットとヌアディブを結ぶ国道 4 号線の改修・拡張に関する枠組み協定の署名式を執り行った。本協定は、両国間の交通の円滑化と道路網の相互接続を促進し、経済・貿易交流を支援することを目的としている。

９月２２日　スペイン船「Intermares」号を会場とした海事研修プログラムが開始

（１）ブセイフ漁業・海洋港湾インフラ大臣は、ヌアクショット自治港にて、スペインの訓練・協力船「Intermares」号を活用した海洋漁業分野の専門研修プログラムの開始式に出席した。同大臣は、このプログラムがモーリタニア・スペイン間の協力関係の深さを示すものであると強調し、漁業監視・検査、漁業技術・機器、水産物の取扱・保存・加工、船上安全規則などの実践的な研修が実施されると説明した。

（２）「Intermares」号はヌアクショットでの研修後、経済首都ヌアディブに移動し、漁具・漁網および魚の処理･取扱をテーマとした集中研修を実施する予定である。今回の研修は 10 月 16 日まで実施され、モーリタニア、スペイン、EU の三者による共同協力の成果として位置づけられている。

９月２３日　GreenGo 社・Shuangliang 社、アンモニア大型プロジェクトの MOU 締結

デンマークの再生可能エネルギー開発企業 GreenGo Energy と中国の Shuangliang New Energy Equipment 社は、モーリタニアおよびナミビアにおける大規模なグリーンアンモニアプロジェクトの共同開発に関する基本合意書（MOU）を締結した。本合意により、GreenGo のプロジェクト開発能力と Shuangliang の水素関連設備・エンジニアリングの専門知識を融合させ、両プロジェクトを構想段階から資金調達可能な実現可能性調査および FEED（基本設計）段階へと推進することを目指す。

９月２４日　欧州委員会、EU とモーリタニア間の新たな漁業協定をめぐる交渉が現在進行中であると表明

（１）EU とモーリタニア間の漁業協定更新をめぐる交渉が継続中であることを欧州委員会が表明した。1987 年以来発効してきた「持続可能な漁業に関するパートナーシップ協定」は、現在 EU 加盟 10 カ国の漁船がモーリタニア水域で年間最大 280,050 トンの漁獲を認めており、EU が年間 6,080 万ユーロの財政的拠出を行っている。この協定は 11 月 14 日に期限切れを迎えるが、交渉は第 4 回ラウンドを経てもいまだ妥結に至っていない。

（２）これを受け、欧州漁業部門の労使団体である Europêche と欧州運輸労働者連盟（ETF）は、期限内の更新を欧州委員会に求めるとともに、期限までに合意が得られない場合には現行協定の 1 年間延長を要請した。

９月２５日　インドの MBH POWER 社がヌアクショット東部の変電所事業に選定

モーリタニア電力公社（SOMELEC）は、ヌアクショット東部に建設する変電所の建設契約を、インドの MBH POWER LTD 社に暫定的に授与した。14 件の入札の中から選定された同社は、高圧変電所や送配電網を専門とし、アフリカでの変電所プロジェクトの実績を有している。本プロジェクトはアフリカ開発銀行およびフランス開発庁の資金提供を受けて

実施される。

９月２６日　ガズワニ大統領、インシリでの新鉱山の近々の操業開始を約束

　ガズワニ大統領はインシリ地域でまもなく新たな鉱山の操業開始を予定しており、これにより同地域の経済活動を活性化させ、雇用と開発の機会を拡大できると述べた。アクジュート市および同地域の発展を支援するため、政府がアクジュート鉱山の操業継続に配慮してきたと述べ、運営会社との間で「より均衡の取れた」条件に基づく新たな協定が締結されたことを強調した。

９月２７日　世界銀行の対モーリタニア資金承認額、直近 7 年間で過去約 60 年間に匹敵

（１）世界銀行が 2019 年 7 月から 2026 年 6 月末までにモーリタニア向けに承認した資金は約 16 億 4,000 万ドルに達し、1960 年から 2019 年 6 月までの約 60 年間の累計約 16 億 3,000 万ドルを上回った。

（２）1960 年以降の承認額は 112 事業、計約 32 億 7,000 万ドルに達している。近年は電力、蓄電、デジタル統合、沿岸地域のレジリエンスなどを対象とした地域プログラムも拡大しており、世界銀行による対モーリタニア支援が大幅に増加している。

９月２９日　モーリタニアとセネガル、セネガル川流域におけるパートナーシップを強化

　セネガルとモーリタニアはダカールで、「セネガル川流域レジリエンス・地域社会開発プログラム（PRDC-VFS）」地域調整委員会の第 1 回会合を開催し、セネガル川流域における国境を越えた協力強化の意向を改めて確認した。世界銀行から約 900 億 CFA フランの資金提供を受ける同プログラムは、両国の対象地域におけるコミュニティのレジリエンス強化と持続可能な地域開発の促進を目的としている。

９月３０日　モーリタニア、TDB グループおよび ATIDI への加盟を推進

（１）閣僚会議は、東部・南部アフリカ貿易開発銀行グループ（TDB グループ）へのモーリタニア加盟に関する批准法案を採択した。加盟により、インフラ、エネルギー、産業、貿易、住宅、民間部門などへの新たな資金調達手段の確保を目指す。

（２）併せて、アフリカ貿易保険機関（ATIDI）への加盟に関する批准法案も採択された。ATIDI への加盟を通じ、貿易・投資に伴うリスクの軽減、民間・公共部門への資金供給促進、アフリカ域内貿易と地域経済統合の強化が期待される。